

報告事項イ

平成31年2月定例県議会付議予定案件（平成31年度当初予算等）の
概要について

平成31年2月定例県議会付議予定案件（平成31年度当初予算等）の概要について、
別紙のとおり報告します。

平成31年2月7日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成31年度当初予算 教育費予算額等

教育委員会 (単位:千円)

課 名	本 年 度	前 年 度	比 較	財 源 内 訳				備 考	
				国 支 出	庫 金	起 債	そ の 他		一 般 財 源
(一般会計)									
教育総務課	275,773	462,019	△ 186,246	110			110,034	165,629	
教育環境課	3,338,183	3,185,355	152,828	14,123		<411,400> 665,000	98,320	2,560,740	
教育人材開発課	55,583,972	55,326,514	257,458	9,045,938			1,428,751	45,109,283	
教育センター	93,095	156,008	△ 62,913				7,240	85,855	
小中学校課	141,054	147,741	△ 6,687	35,253			1,888	103,913	
特別支援教育課	410,222	418,479	△ 8,257	53,218			325	356,679	
高等学校課	1,645,353	1,703,838	△ 58,485	1,175,247			8,277	461,829	
いじめ・不登校 総合対策センター	109,765	115,452	△ 5,687	34,682			52	75,031	
社会教育課	235,771	233,207	2,564	546		<21,900> 40,000	779	194,446	
図書館	302,126	277,096	25,030			<17,700> 59,000	4,520	238,606	
人権教育課	528,014	656,352	△ 128,338	73,198			66,526	388,290	
博物館	290,001	272,875	17,126	4,533			14,914	270,554	
体育保健課	341,932	322,765	19,167	12,155			90,381	239,396	
(文化財課)	(605,320)	(753,280)	(△147,960)	(96,430)			(3,961)	(504,929)	
合 計	63,295,261	63,277,701	17,560	10,449,003		<451,000> 764,000	1,832,007	50,250,251	県費負担額 50,701,251

(注) 起債の上段<>書きは交付税措置額を除いた金額である。

県費負担額は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

平成31年2月定例県議会付議予定案件(平成31年度当初予算等)目次

<主要事業>
(予算関係)

事業名	課名	頁
1 社会全体で学び続ける環境づくり		
・ 心とからだいきいきキャンペーン ～私たちの未来 とつとりの未来 わくわく創出事業～	教育総務課	1
新 ・ 特別支援学校における学校運営協議会制度推進事業	特別支援教育課	2
2 学ぶ意欲を高める学校教育の推進		
・ 学力向上総合対策推進事業	小中学校課	3
新 ・ 外国人児童生徒等への日本語指導等支援事業	小中学校課	4
・ キャリア教育充実事業	高等学校課	5
・ 鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業	高等学校課	6
新 ・ 病気療養児の遠隔教育支援事業	特別支援教育課	7
・ 県立特別支援学校早朝・医ケア子ども教室	特別支援教育課	8
3 学校を支える教育環境の充実		
・ 教育審議会費	教育総務課	9
・ 教育施設営繕費	教育環境課	10
・ 学校現場における働き方改革推進事業	教育人材開発課	11
4 生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進		
・ 部活動指導員配置事業	体育保健課	12
5 文化、伝統、豊かな自然の継承、再発見、芸術の創造		
・ 鳥取県立美術館整備推進事業	博物館	13
計 13事業		

(予算関係以外)

議案番号	件名	課名	頁
第38号	鳥取県行政財産使用料条例等の一部を改正する条例 (鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例)	小中学校課	14
第38号	鳥取県行政財産使用料条例等の一部を改正する条例 (鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例の 一部を改正する条例)	社会教育課	15

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
1項 教育総務費
2目 事務局費

教育総務課（内線：7926）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 〈受託収入〉	一般財源	
心とからだいきいきキャンペーン～私たちの未来とつとりの未来わくわく創出事業～	2,080	1,000	1,080			2,000	80	
トータルコスト	4,461千円（前年度 3,385千円）・〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	啓発用品の作成、各種広報・啓発活動等							
工程表の政策目標（指標）	家庭教育の充実、社会全体で取り組む教育の推進、学力向上の推進							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

子どもたちの望ましい生活習慣の定着に向けた啓発運動「心とからだ いきいきキャンペーン」について、これまでの取組に「子どもたちの夢やふるさとを愛する心を育て、自己肯定感を向上させていくこと」を加え、啓発に取り組む。

2 主な事業内容

(1) 啓発フォーラムの実施

文部科学省と独立行政法人国立青少年教育振興機構が実施している「早寝・早起き・朝ごはん」運動事業を活用し、県内の保護者、児童生徒、学校関係者を対象とした啓発フォーラムを開催する。開催に当たっては県PTA連合会等とも連携し、生活習慣をはじめとした幅広い内容の啓発を行う。

(2) ソーシャルメディアを活用した教育情報の発信

ソーシャルメディアを活用した教育情報の発信、キャンペーンの周知を行う。加えて、博物館や図書館のイベント情報や各学校の取組紹介等も掲載することで、親しみやすく、多くの県民から求められる情報発信とする。

(3) 啓発物品の作成、配布

キャンペーンで発信するメッセージを啓発物品にし、県内の園・学校に配布することでキャンペーンの周知を図る。

(4) コンテストの開催

児童・生徒を対象としたコンテストを開催し、子どもたちが楽しみながら自分の夢やふるさとなどについて考える機会とする。

（単位：千円）

事業項目	事業費
フォーラム開催関連経費	1,040
啓発物品作成等経費	1,000
コンテスト入賞者への報償費	40
計	2,080

3 これまでの取組状況、改善点

子どもたちの生活習慣の重要性について、広報誌（教育だより「とっとり夢ひろば！」）やメールマガジンに掲載するなどし、保護者等に啓発を行ってきた。

平成30年度は、新たに「眠育」のリーフレットを作成して、学校や幼稚園、保育所等を通じて保護者に配布し、研修会等でリーフレットを活用するとともに、市町村教育委員会委員研修会においても、「眠育」をはじめとした生活習慣の重要性について講演会を開催し、市町村、保護者、PTA関係者等が子どもの生活習慣について考える契機とした。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

特別支援教育課 (内線: 7598)

5目 教育振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
(新) 特別支援学校における学校運営協議会制度推進事業	916	0	916				916													
トータルコスト	5,679千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.6人]																			
主な業務内容	学校との調整、関係者との調整、研修会の開催																			
工程表の政策目標(指標)	特別支援教育の充実																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の概要</p> <p>県立特別支援学校のモデル校を対象として、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)(※)を導入し、学校への支援を行う。</p> <p>※学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)…学校に学校運営協議会を設置し、学校、家庭、地域が共通の目標・ビジョンを共有し協働して子どもたちを育むために学校を支援する仕組み</p>																				
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進研修会の開催</td> <td style="text-align: center;">479</td> <td> ○講義 内容: 学校運営協議会の目的や導入の必要性等、基本的な内容について正しい理解を図るための講義を実施する。 対象: モデル校の学校運営協議会委員 ○講演会 内容: 特別支援学校における学校運営協議会の先進校の実践に関する講演会を開催する。 対象: モデル校の学校運営協議会委員、モデル校以外の管理職、学校評議員等 </td> </tr> <tr> <td>学校運営協議会の開催</td> <td style="text-align: center;">437</td> <td> ○年3回運営協議会を開催する。 モデル校3校(白兎養護学校、米子養護学校、琴の浦高等特別支援学校) ※圏域ごとに1校ずつ、各3回開催 委員各10名(内学校教職員は5名) </td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">916</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	推進研修会の開催	479	○講義 内容: 学校運営協議会の目的や導入の必要性等、基本的な内容について正しい理解を図るための講義を実施する。 対象: モデル校の学校運営協議会委員 ○講演会 内容: 特別支援学校における学校運営協議会の先進校の実践に関する講演会を開催する。 対象: モデル校の学校運営協議会委員、モデル校以外の管理職、学校評議員等	学校運営協議会の開催	437	○年3回運営協議会を開催する。 モデル校3校(白兎養護学校、米子養護学校、琴の浦高等特別支援学校) ※圏域ごとに1校ずつ、各3回開催 委員各10名(内学校教職員は5名)	合計	916	
区分	予算額	事業内容																		
推進研修会の開催	479	○講義 内容: 学校運営協議会の目的や導入の必要性等、基本的な内容について正しい理解を図るための講義を実施する。 対象: モデル校の学校運営協議会委員 ○講演会 内容: 特別支援学校における学校運営協議会の先進校の実践に関する講演会を開催する。 対象: モデル校の学校運営協議会委員、モデル校以外の管理職、学校評議員等																		
学校運営協議会の開催	437	○年3回運営協議会を開催する。 モデル校3校(白兎養護学校、米子養護学校、琴の浦高等特別支援学校) ※圏域ごとに1校ずつ、各3回開催 委員各10名(内学校教職員は5名)																		
合計	916																			

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

小中学校課、教育センター（内線：7935）

04目 教育連絡調整費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
学力向上総合対策推進事業	15,256	7,576	7,680				15,256	
トータルコスト	18,431千円（前年度 10,754千円）〔正職員：0.4人〕							
主な業務内容	学力向上推進プロジェクトチーム会議の開催、学力向上研修会等の開催、学校訪問による授業改善への支援、活用問題集・実践事例集等の作成・活用							
工程表の政策目標(指標)	学力向上の推進							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>全国学力・学習状況調査で明らかになった学力課題の解決に向けて、平成30年度に「学力向上推進プロジェクトチーム（PT）」で対策を検討した結果を踏まえ、これまでの取組を見直し、戦略的、短期・中長期的な視点から、市町村教育委員会と一体となった取組を進め、児童生徒の学力向上を図る。</p>								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	事業内容						
学校現場における 学力向上策の推進 ◇教員の指導力向上・授業改善の推進 ◇児童生徒の学習意欲・学力の向上	14,156	○秋田県の授業手法を参考に、鳥取県の日々の授業改善の実践・徹底を図るとともに、学校教育支援サイトの構築や中学校教学問題データベースの導入等を行い、教員の指導力の向上及び授業改善を推進する。 ○小学校算数の単元到達度評価問題を実施し、児童の理解度の検証を行いながら授業改善を推進するとともに、若手教員を先進地に派遣し、指導力向上を図る。 ○小学校の国語・算数の活用力向上に向け、平成30年度に作成した活用問題集について、これを用いた授業の実践事例や文科省、県が作成した授業アイデア例等をさらに盛り込んだ活用問題集に充実させ、児童が「わかった」「できた」を実感できる授業への改善と徹底を図る。 ○家庭学習の質の向上を図るため、平成30年度の取組について実践事例集を作成し、家庭学習の意欲を引き出す好事例の周知・徹底、横展開を推進する。						
教育委員会の指導体制の見直し・強化	1,100	○引き続き学力向上推進PTを設置し、外部アドバイザー等の意見を伺いながら、学力向上策の検証、改善を進める。また、事業の検証や学校現場での具体的な取組方法、徹底を図るための方策等を検討するため、ワーキンググループ(WG)会議を開催する。						
合計	15,256							
3 これまでの取組状況、改善点								
<p>平成30年度から各地域の学力課題等を踏まえた取組を県と市町村教育委員会が連携しながら推進している。また、平成30年度に設置した学力向上推進プロジェクトチームでの議論を踏まえ、授業改善の焦点化を図るとともに、各課題に応じた学力向上策を一層推進するため、各地域の取組の横展開を行っていく。</p>								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

小中学校課 (内線: 7935)

4目 教育連絡調整費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 外国人児童生徒等への日本語指導等支援事業	4,251	0	4,251	2,125			2,126	
トータルコスト	5,839千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	市町村への補助金交付、連絡調整等							
工程表の政策目標 (指標)	—							

事業内容の説明

1 事業の概要

共生社会の実現に向けて、外国人児童生徒等への日本語指導を含む教育の充実を図るため、公立小・中・義務教育学校における日本語指導補助者や母語支援員の活用による指導体制の構築、多言語翻訳システム等ICTを活用する市町村等に対して助成を行う。

2 事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	事業内容
公立学校における帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業 (国・県・市町村1/3)	4,019	日本語指導補助者や母語支援員の活用による指導体制の構築など市町村等が行う外国人児童生徒等への支援体制の整備に対する支援を行う。
言語翻訳システム等ICTを活用した帰国・外国人児童生徒等のための支援事業 (国・県・市町村1/3)	232	きめ細かな就学相談や充実した日本語指導を実施するため、多言語翻訳システム等ICT機器を整備する市町村等に対して支援を行う。
合計	4,251	

3 これまでの取組状況、改善点

これまでも市町村ごとにそれぞれの地域の実態に応じた外国人児童生徒等への支援を行っているが、新規に本事業を実施することにより、県として、よりきめ細やかな指導体制の構築を支援していく。

<関連事業: 人権尊重のまちづくり推進支援事業 (人権教育課所管)>

現在日本語版を含めて9カ国語 (10言語) で作成している学校生活ガイドブックについて、新たにベトナム語版を作成し、外国籍児童生徒等の保護者を言語面でサポートする。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費
5目 教育振興費

高等学校課（内線：7959）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
鳥取発!高校生グローバルチャレンジ事業	6,741	9,923	△3,182	2,257		200	4,284	
トータルコスト	12,298千円（前年度 16,279千円）[正職員：0.7人]							
主な業務内容	事業実施、海外派遣企画、研修							
工程表の政策目標(指標)	学力向上の推進、社会の進展に対応できる教育の推進							

事業内容の説明

1 事業の概要

国内企業（県内企業を含む。）の海外進出や外国人雇用、英語の社内公用語化などのグローバル社会の到来を迎え、グローバル化に対応できるよう、留学などの海外体験を通じて、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち国際社会で活躍する人材を育成する。

2 事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	事業内容
鳥取県高校生英語弁論大会優秀者派遣事業	499	鳥取県高校生英語弁論大会の優秀者を海外に派遣し、英語によるコミュニケーション能力を高める。 ・派遣先：ニュージーランド ・派遣人数：2人（単県（一部本人負担））
（新）鳥取県理数課題研究等発表会優秀者派遣事業	1,215	理数課題研究等発表会優秀者を海外に派遣し、現地高校生との相互研究発表や共同研究等を行い、国際的視野を養うことにより、科学技術分野をけん引する人材を育成する。 ・派遣先：米国（バーモント州） ・派遣人数：3人（単県（一部本人負担））
高校生海外体験支援事業（短期留学）	1,400	2～6週間程度の留学を希望する高校生に助成 ・助成額：往復運賃・滞在費用の1/2か20万円のいずれか低い額 ・助成人数：7人（単県）
高校生海外留学支援事業	600	1年程度の留学を希望する高校生に助成 ・助成額：往復運賃・滞在費用の上限30万円 ・助成人数：2人（単県）
高等学校等海外派遣支援事業	1,800	各学校で実施する2週間～1年未満の海外派遣プログラムに助成 ・助成額：往復運賃・滞在費用の上限6万円 ・助成人数：1校当たり10名、3校（国委託10/10）
高校生英語弁論大会	105	英語学習の総合的な成果発表の場として開催
高校生海外留学・海外体験説明会	97	留学説明会及び留学経験者との意見交換会の開催（国委託10/10）
海外勤務経験者等派遣事業	360	海外勤務経験者による講演会や座談会を開催し、海外進出を目指す人材を育成（国委託10/10）
ニュージーランドクワイストチャーチ高校生架け橋プロジェクト	665	日本語を学ぶニュージーランドの高校生を県内学校に受け入れ、互いに学ぶ意欲を高め合いながら交流することにより、生徒の国際的視野を養成する。
合 計	6,741	

3 これまでの取組状況、改善点

・留学を考えている生徒・保護者も一定数あり、留学等説明会に参加して留学を決めた生徒がいるなど、海外に目を向けるきっかけとなっている。

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
高校生海外留学・海外派遣説明会参加生徒数	47人	49人	72人	77人	49人	40人	33人	61人	55人
留学者数（長期留学）	4人	3人	4人	5人	4人	4人	2人	10人	4人 (H30.10)

平成31年度一般会計当初予算説明資料

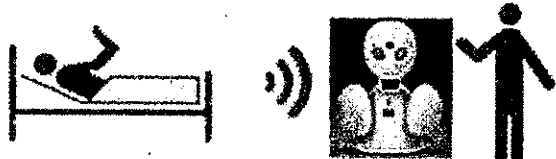
10款 教育費

1項 教育総務費

特別支援教育課 (内線: 7598)

5目 教育振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 病気療養児の遠隔教育支援事業	6,648	0	6,648	2,216			4,432	
トータルコスト	8,236千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	病気療養児の遠隔教育を支援する							
工程表の政策目標(指標)	特別支援教育の充実							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>同時双方向通信が可能なICT機器やロボットを活用した病気療養児の遠隔教育を推進し、児童生徒の学習を保障するとともに、人間関係を含めた円滑な学校復帰を進める。</p>								
2 事業内容								
<p>同時双方向で通信ができるICT機器及びロボット「OriHime」(計8台)を常時病気療養児が在籍する病弱教育の特別支援学校及び院内学級設置学校へ配備したり、一定期間入院や自宅療養する公立学校の児童生徒に必要な応じて貸し出したりすることにより、病室や自宅で「OriHime」を介して本人と学校をつなぐ遠隔授業を実施し、日常的に仲間と会話したり一緒に活動に参加したりして、学習の充実、集団で学ぶ環境の保障及び円滑な復学につなげる。</p> <p>※分身ロボット「OriHime」について カメラ・マイク・スピーカーが搭載されている上半身人型のロボット。インターネットを通して操作し、手を挙げる、首を振る等の動作、音声出力等が可能。モニターが付いていないため、使用者は周りの環境や自身の姿を気にすることなく使用することができる。</p>								
								
3 これまでの取組状況、改善点								
<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から日本財団共同プロジェクト「ICTを活用した学習保障事業」において、病室や家庭にいる病気療養児が、教室に配置した分身ロボット「OriHime」を通して学習に参加して友だちとの交流を持つことができる遠隔教育を行い、教育の成果が得られた。そして更に取組の充実が望まれている。 平成30年9月20日には文部科学省から「「遠隔教育の推進に向けた施策方針」の策定について(通知)」及び「小・中学校等における病気療養児に対する同時双方向型授業配信を行った場合の指導要録上の出欠の取扱い等について(通知)」があり、病気療養児の遠隔教育の実施と充実について求められている。 								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

特別支援教育課（内線：7924）

5目 教育振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県立特別支援学校早朝・医ケア子ども教室	16,729	15,088	1,641	1,600			15,129	
トータルコスト	28,636千円（前年度27,006千円） [正職員：1.5人]							
主な業務内容	児童生徒の早朝時間帯の居場所づくり、医療的ケアの必要な児童生徒の放課後の居場所づくり							
工程表の政策目標（指標）	特別支援教育の充実、社会全体で取組む教育の推進							

事業内容の説明

1 事業の概要

(1) 早朝子ども教室

鳥取・倉吉・皆生・米子養護学校において、地域住民や保護者OB等からなる学校支援ボランティアとともに、学校受入時刻（9時前）までの早朝時間帯の子ども達の居場所となる早朝子ども教室を実施し、児童生徒の活動支援や見守りを行う。（皆生養護学校においては、平成31年度から新たに実施する。）

(2) 医療的ケアの必要な児童生徒の放課後子ども教室

医療的ケアの必要な生徒の放課後の居場所を確保するため、福祉保健部が実施を予定している放課後等デイサービス事業の体制が整うまでの2年間（平成30～31年度）の暫定措置として、鳥取養護学校において、看護師を配置した放課後子ども教室を実施し、児童生徒の活動支援や見守りを行う。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
鳥取・倉吉・皆生・米子養護学校早朝子ども教室	2,823	<ul style="list-style-type: none"> ○実施場所 学校内教室（生活訓練室等） ○受入時刻 登校時刻から学校受入時刻まで ○対象生徒 小学部、中学部、高等部 24名程度 ○実施体制 <ul style="list-style-type: none"> ・学校とボランティアの調整をするコーディネーター（各校1名） ・地域住民、保護者等によるボランティア（各校3～5名） ○実施内容 読み聞かせ、朝読書、見守り等
鳥取養護学校医療的ケアの必要な児童生徒の放課後子ども教室	13,906	<ul style="list-style-type: none"> ○実施場所 生活訓練室等 ○受入時刻 午後3時から5時まで（2時間程度） ○対象生徒 医療的ケアの必要な生徒 ○実施体制 <ul style="list-style-type: none"> ・学校とボランティアの調整をするコーディネーター（1名） ・地域住民によるボランティア（4名） ・看護師（2名） ○実施内容 読み聞かせ、運動、見守り等
合計	16,729	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・平成26年度から鳥取養護学校と倉吉養護学校で早朝子ども教室を開始した。
- ・平成28年度から米子養護学校で早朝子ども教室を開始した。
- ・平成30年度から鳥取養護学校で医療的ケアの必要な児童生徒の放課後子ども教室を開始した。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
1項 教育総務費
2目 事務局費

教育総務課 (内線: 7914)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
教育審議会費	1,328	1,335	△7			1,328	
トータルコスト	4,503千円 (前年度4,513千円) [正職員: 0.4人]						
主な業務内容	鳥取県教育審議会の開催・運営						
工程表の政策目標(指標)	県民との協働による計画の推進						

事業内容の説明

1 事業の概要

本県教育の振興を図るため、学校教育、生涯学習などの教育の振興に関する重要事項を調査審議するための「鳥取県教育審議会」の開催に要する経費である。

2 事業内容

鳥取県教育審議会を開催し、教育等の重要事項について、調査審議・建議を行う。

(1) 委員定数 30名以内

(2) 組織

分科会	所掌事務
学校等教育分科会	公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校(以下「公立学校等」という。)の教育の振興に関する重要事項(学校運営分科会及び生涯学習分科会の所掌事務に属するものを除く。)を調査審議し、及び建議すること。
学校運営分科会	1 公立学校等の運営に関する重要事項を調査審議し、及び建議すること。 2 公立学校等の教職員評価に関する重要事項を調査審議し、及び建議すること。
生涯学習分科会	1 生涯学習の振興に関する重要事項を調査審議し、及び建議すること。 2 社会教育の振興に関する重要事項を調査審議し、及び建議すること。 3 青少年教育の振興に関する重要事項を調査審議し、及び建議すること。 4 青少年の健全な育成に関する重要事項を調査審議し、及び建議すること。 5 文化芸術の振興に関する重要事項を調査審議し、及び建議すること。

※平成31年度は、上記組織及びその他の専門部会により、以下の審議を行う。

区分	審議事項
学校等教育分科会 (県立高等学校の在り方検討等)	2026年度以降の県立高等学校の在り方について、学校再編、特色ある新たな学科の設置など、基本方針策定に向けた抜本的な検討を行う。
夜間中学等調査研究部会	関係団体や市町村教育委員会、私学関係者等との連携を図り、夜間中学等の需要の把握等を進め、平成30年3月に設置した夜間中学等調査研究部会において引き続き夜間中学等の設置の方向性を検討する。
特別支援教育部会 (仮称)	児童生徒の障がいの重度・重複化、通級指導教室の増加、特別支援学校施設の狭隘化・老朽化、センター的機能の充実など、特別支援教育が抱える諸課題について検討を行う。

(3) 開催数 総会: 年3回程度開催、分科会・専門部会: 必要に応じて開催

3 これまでの取組状況、改善点

平成18年3月に鳥取県教育審議会条例を制定した。この条例に基づき、平成18年に鳥取県教育審議会を設置し、教育施策等に関して調査審議している。

<県立高校の在り方検討に関連する過去の審議事項>

○H25. 4. 23諮問: 次代を担う生徒を育成するための魅力と活力にあふれる本県高等学校教育の在り方について

→H26年9月29日答申: 次代を担う生徒を育成するための魅力と活力にあふれる本県高等学校教育の在り方について

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
1項 教育総務費
6目 教育財産管理費

教育環境課 (内線: 7933)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
教育施設営繕費	607,931	599,742	8,189		<168,500> 306,000		301,931	県費負担 470,431
トータルコスト	806,381千円 (前年度 757,054千円) [正職員: 25.0人、非常勤職員: 1.0人]							
主な業務内容	委託・工事内容の調整 支払等会計手続							
工程表の政策目標 (指標)	安全、安心な教育環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県立学校等の施設設備の改修工事の適正な執行を図るために、設計業務、工事等の適正な進行管理を行う。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	事業内容
大規模営繕、一般営繕	373,715	○教育施設の維持及び老朽化等の進行に伴い必要となる改修を行う。
老朽トイレ (洋式化) 緊急整備	185,936	○緊急に整備が必要な県立高等学校のトイレについて、年次計画的に洋式化及び老朽改修を行う。 ※3カ年 (H30-32) で10校13棟を実施予定である。 ○平成31年度整備対象校 鳥取東高等学校、鳥取工業高等学校、鳥取緑風高等学校、鳥取中央育英高等学校
県立高等学校普通教室エアコン更新	43,252	○経年劣化及び定期点検による機能低下の指摘を受けた県立高等学校普通教室の空調について、機器の更新を行う。 ○今後の更新計画 <平成31年度に設計及び工事を行う学校> 倉吉東高等学校 <平成31年度に設計、平成32年度に工事を行う学校> 米子西高等学校、米子南高等学校、鳥取緑風高等学校 ○以降その他の学校についても、エアコンの劣化状況等を勘案し、年次的に順次更新を行っていく。
工事監理費等	5,028	○工事の執行事務等に必要なる諸経費。
合 計	607,931	

3 これまでの取組状況、改善点

施設設備の改修工事の適正な執行と計画的な施設修繕等、教育環境の改善に取り組んでいる。
トイレの改修について、平成30年度には2校2棟 (鳥取商業高等学校、米子西高等学校) で実施した。
県立学校の普通教室エアコン設置率については100%となっている。

(注) 起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。
県費負担額は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

教育人材開発課 (内線：7571)

3目 教職員人事費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
学校現場における働き方改革推進事業	17,169	11,439	5,730	5,163			12,006																
トータルコスト	19,550千円 (前年度13,028千円) [正職員：0.3人]																						
主な業務内容	補助金申請事務、配置効果検証等																						
工程表の政策目標(指標)	教職員の多忙解消・負担軽減																						
事業内容の説明																							
1 事業の概要																							
<p>学校現場における働き方改革を推進し、教員の多忙解消・負担軽減を図るため、国補助事業(補助率1/3)を活用し、学習プリント印刷や授業準備など教員の負担となっている事務作業をサポートする非常勤職員(教員業務アシスタント)を学校に配置する。</p>																							
2 事業内容																							
(1) 配置人数																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>校種</th> <th>平成31年度</th> <th>前年度増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>13人</td> <td>+6人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6人</td> <td>+3人</td> </tr> <tr> <td>県立学校</td> <td>4人</td> <td>+1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23人</td> <td>+10人</td> </tr> </tbody> </table>									校種	平成31年度	前年度増減	小学校	13人	+6人	中学校	6人	+3人	県立学校	4人	+1人	合計	23人	+10人
校種	平成31年度	前年度増減																					
小学校	13人	+6人																					
中学校	6人	+3人																					
県立学校	4人	+1人																					
合計	23人	+10人																					
(2) 業務概要																							
<p>ア 業務例：学習プリント等の印刷・配布、授業準備の補助、採点、データ入力、掲示物の作成・掲示、学校行事の準備補助等</p> <p>イ 勤務形態：週20時間</p> <p>ウ 単価等：@940円×週20時間×年35週</p>																							
3 これまでの取組状況、改善点																							
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度以降県立学校を順次学校カイゼン推進校に指定するとともに、平成28年2月に策定した「市町村立学校に係る業務改善アクションプラン」などにより、業務改善に向けた取組を推進している。 平成29年度末に策定した「鳥取県教育委員会学校業務カイゼンプラン」に掲げる取組の1つとして、平成30年度から当該非常勤職員を新規配置することで、教員の時間外業務の減少や勤務時間に対する意識向上が成果として現れている。 <p><参考>アンケート調査結果(平成30年10月実施)</p> <p>対象：教員業務アシスタントを配置した学校の教員</p> <ul style="list-style-type: none"> 「非常勤職員の配置を含めた業務改善の取組により今年度の時間外業務が減った」28% 「今年度の業務改善の取組を通じて勤務時間や時間外業務に対する意識が高まった」54% 																							

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

7 項 保健体育費

体育保健課(内線:7522)

2 目 学校体育振興費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
部活動指導員配置事業	26,612	16,203	10,409	7,448			19,164	
トータルコスト	28,200千円(前年度17,792千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	任用事務、配置校との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	健やかな心と体づくりの推進、ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実							

事業内容の説明

1 事業の概要

県立高等学校及び公立中学校における部活動に係る教員の負担軽減及び指導の充実を図るため、地域人材等を、単独指導及び単独引率が可能な部活動指導員として学校に配置する。

2 事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	事業内容
県立高等学校部活動指導員配置【単県】 (19人分)	11,716	県立高等学校に部活動の単独指導等を行う部活動指導員(非常勤職員)を配置する。 H30(実績):11人 → H31(予定):19人
中学校部活動指導員配置 【国、県、市町各1/3】 (70人分)	14,896	適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めている教育委員会を対象に、部活動指導員(非常勤職員)の配置に係る経費の一部を補助し、公立中学校における部活動に係る教員の負担軽減や部活動の質的な向上を図る。 H30(実績):27人 → H31(予定):70人
合計	26,612	

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成30年度、高等学校11校12部に11名を配置し、教員の勤務負担軽減及び部活動の充実ができた。
- 平成30年度、1市2町が中学校(鳥取市:7校、北栄町:2校、伯耆町:2校)に部活動指導員を配置し、教員の勤務負担軽減及び部活動の充実ができた。
- これまで会議等のため部活動顧問が指導できなかった場合でも、部活動指導員が単独で指導を行うことができたため、生徒の練習時間も増え、十分な活動ができた。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
4目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立美術館整備推進事業	39,977	4,935	35,042	4,533			35,444	
トータルコスト	63,791千円（前年度 20,825千円） [正職員：3.0人]							
主な業務内容	PFI事業者選定事業、美術ラーニングセンター検討、「県民立美術館」啓発事業							
工程表の政策目標（指標）	美術館整備に係る事業者の選定等							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県立美術館の整備運営にPFI（BTO方式）手法を導入するため、要求水準書、落札者決定基準等の作成、PFI事業者選定審査会の開催等、PFI事業者選定・契約等の準備を着実に進める。
また、「未来を『つくる』美術館」をコンセプトに掲げた県立美術館の開館に向けて、美術館活動の効果を先行して波及させるとともに、県民と連携した美術館づくりを行っていく。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
(1) PFI事業者選定事業	22,030	<ul style="list-style-type: none"> ○アドバイザー業務委託(19,447千円) 県が行うPFI事業者選定に関し、法務、金融、建築技術等の専門的な知見・能力に基づく一連の支援業務を専門コンサルタントに委託する。 ※H30.6月補正債務負担行為設定済 ○PFI事業者選定審査会(2,583千円) PFI事業者を総合評価一般競争入札により選定するにあたり、落札者決定基準の策定、事業者及び事業提案書の審査を行う有識者による審査会の設置・運営等を行う。（※県内外の有識者等9名、H30：2回、H31：4回程度）
(2) 建設場所調査業務委託（新規）	11,336	<ul style="list-style-type: none"> 入札公告において事業者に提示する基礎資料とするため、美術館建設予定地（現倉吉市営ラグビー場）の地質調査（9,224千円）、高低測量（2,112千円）を行う。 ※社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）活用予定（国2/5）
(3) 県民が活躍する美術館事業	6,611	<ul style="list-style-type: none"> ○美術ラーニングセンター（仮称）機能の充実に向けた検討事業(3,365千円) <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の博物館への招待、デジタル鑑賞コンテンツの活用、黒板ジャック等の美術大学と連携した取組、夏休み子ども向け企画展の開催等により美術に触れる機会を創出する。 ・小学校の新規採用職員研修（県教育センター主催）での専門講座の開催等 ○「私たちの県民立美術館」普及啓発事業(3,246千円) <ul style="list-style-type: none"> ・「アートの種まきプロジェクト」として、ワークショップや館外での美術品の展示・解説等を行うとともに、それら実施結果等の紹介を通じて関心を高めるフリーペーパーを作成する。 ・芸術文化関係者とディスカッションを行う「ミュージアム・サロン」の開催 ・県立博物館の美術コレクションの展示・解説等を行う「コレクション宅配便」の開催 ・地域団体等が実施するワークショップ等の開催経費の補助
合計	39,977	

3 これまでの取組状況、改善点

平成30年7月に鳥取県立美術館の整備基本計画を策定するとともに、「県有施設・資産有効活用戦略会議」におけるPFI・BTO方式を導入するとの検討結果を踏まえ、PFI事業者選定作業に着手した。

（参考）今後のスケジュール（想定）
 2019年3月 実施方針の公表
 2019年後半 特定事業の選定、債務負担（議会議決）、入札公告
 2020年前半 事業者決定、本契約・設置管理条例の制定（議会議決）
 2020年～2021年 PFI民間事業者による基本設計・実施設計
 2021年～2024年 PFI民間事業者による建設工事（乾燥期間を含む。）
 2024年度 開館

※鳥取県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）を平成30年6月に策定済（相当規模の展覧会が可能な展示室の存置等）

条 例 名 等	鳥取県行政財産使用料条例等の一部を改正する条例 (鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例)																												
提 出 理 由 及 び 概 要	<p>1 提出理由 受益と負担の公平の確保を図るため、教育職員の臨時免許状の授与等に係る手数料の額を見直す。</p> <p>2 概 要 (1) 次のとおり手数料の額を引き上げる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事務の区分</th> <th>単位</th> <th>改正前</th> <th>改正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 教育職員の臨時免許状の授与</td> <td>1 件につき</td> <td>1,700円</td> <td>1,800円</td> </tr> <tr> <td>イ 特別支援学校の教員の臨時免許状への新教育領域の追加</td> <td>1 件につき</td> <td>1,700円</td> <td>1,800円</td> </tr> <tr> <td>ウ 教育職員の普通免許状又は特別免許状の有効期間の延長</td> <td>1 件につき</td> <td>2,200円</td> <td>2,300円</td> </tr> <tr> <td>エ 教育職員の免許状の書換交付</td> <td>1 件につき</td> <td>870円</td> <td>950円</td> </tr> <tr> <td>オ 教育職員の免許状の再交付</td> <td>1 件につき</td> <td>1,100円</td> <td>1,200円</td> </tr> <tr> <td>カ 旧免許状所持現職教員の修了確認期限の延期</td> <td>1 件につき</td> <td>2,200円</td> <td>2,300円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施行期日は、平成31年10月1日とする。</p>	事務の区分	単位	改正前	改正後	ア 教育職員の臨時免許状の授与	1 件につき	1,700円	1,800円	イ 特別支援学校の教員の臨時免許状への新教育領域の追加	1 件につき	1,700円	1,800円	ウ 教育職員の普通免許状又は特別免許状の有効期間の延長	1 件につき	2,200円	2,300円	エ 教育職員の免許状の書換交付	1 件につき	870円	950円	オ 教育職員の免許状の再交付	1 件につき	1,100円	1,200円	カ 旧免許状所持現職教員の修了確認期限の延期	1 件につき	2,200円	2,300円
事務の区分	単位	改正前	改正後																										
ア 教育職員の臨時免許状の授与	1 件につき	1,700円	1,800円																										
イ 特別支援学校の教員の臨時免許状への新教育領域の追加	1 件につき	1,700円	1,800円																										
ウ 教育職員の普通免許状又は特別免許状の有効期間の延長	1 件につき	2,200円	2,300円																										
エ 教育職員の免許状の書換交付	1 件につき	870円	950円																										
オ 教育職員の免許状の再交付	1 件につき	1,100円	1,200円																										
カ 旧免許状所持現職教員の修了確認期限の延期	1 件につき	2,200円	2,300円																										

<p>条 例 名 等</p>	<p>鳥取県行政財産使用料条例等の一部を改正する条例 (鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例)</p>
<p>提 出 理 由 及 び 概 要</p>	<p>1 提出理由 受益と負担の公平の確保を図るため、青少年社会教育施設(船上山少年自然の家及び大山青年の家)の施設使用料の額を見直す。</p> <p>2 概 要 次のとおり施設使用料の額を引き上げる。 ア 宿泊する場合 1人1泊につき920円(現行 900円) イ 宿泊しない場合 1人1日につき460円(現行 450円)</p> <p>3 施行期日 平成31年10月1日</p>